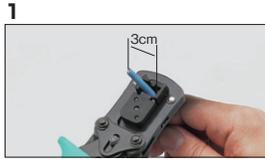


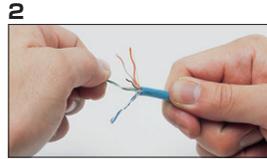
モジュラプラグ(UTP)組立方法

UTP(シールドなしタイプ)モジュラプラグの組立方法を解説いたします。

型番	ページ
NW060-R88-T50-C5E	2003ページ
NW060-EZRJ45	2003ページ
MP588	2004ページ
NW060-R88-T50-C6	2006ページ



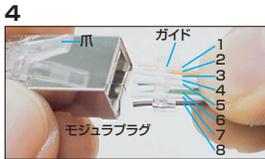
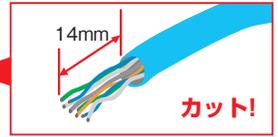
シースをストリッパで約3cmむきます。



ツイストしている4本のケーブルをほぐして8本に分解します。



分解したケーブルをまっすぐにのばします。その後、シースムキの長さを14mmにカットします。

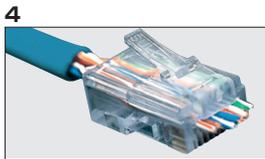


カラーコード順に並べて付属のガイドへ通します。その後モジュラプラグの先端まで挿入します。

(※NWMP588は、ガイドなしのため直接モジュラプラグへ導体を挿入下さい。)

※NW060-EZRJ45の場合

(上記の「4」番以降、以下をご参照ください)



カラーコード順に並べてモジュラプラグへ貫通させてください。



専用の圧着工具で圧着します。

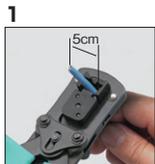


全線奥まで挿入されていることを確認します。組立完了です。

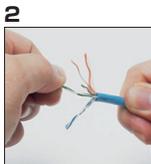
モジュラプラグ(STP)組立方法

STP(シールドありタイプ)モジュラプラグの組立方法を解説いたします。

型番	ページ
NW060-R88-T50C5E-SH	2005ページ
MPS588	2005ページ
NW060-R88-T50C6-SH	2006ページ

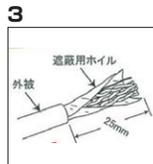


シースをストリッパで約5cmむきます。



ツイストしている4本のケーブルをほぐして8本に分解します。その後、ケーブルをまっすぐにのばします。

(※NWMP588は、ガイドなしのため直接モジュラプラグへ導体を挿入下さい。)

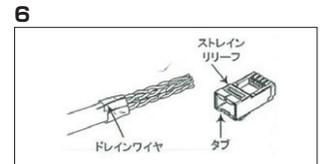
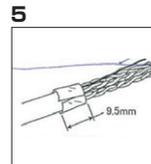
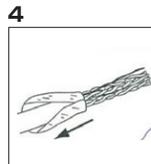


ケーブル前処理

3. 遮蔽用ホイルを切らないように、外被をむきます。外被をぬいた部分から約25mm遮蔽用ホイルを残します。

4・5. 遮蔽用ホイルを傷つけないように折り返します。折り返した部分を約9.5mm残します。

6. ドレインワイヤも折り返します。プラグに挿入する際に、ドレインワイヤがストレーンリリーフ側ではなく、タブ側になるように注意してください。ドレインワイヤを外皮に4・5周まきつけてもOKです。



カラーコード順に並べて付属のガイドへ通します。その後モジュラプラグの先端まで挿入します。



しっかりと先端部分までケーブルを挿入。合わせてシールド部分が、プラグの金属部に接触するよう差込みます。



圧着工具で圧着します。全線奥まで挿入されていることを確認します。根元の不要なアルミホイルとドレインワイヤはさみなどで切り落とします。組立完了です。



圧着工具で圧着します。全線奥まで挿入されていることを確認します。根元の不要なアルミホイルとドレインワイヤはさみなどで切り落とします。組立完了です。